

令和6年度 ◎園目標 心豊かでたくましい子
◎重点目標 「やってみよう」「もっとやってみよう」と心を動かす

自然とのふれあい♡

寒い日が続き、プールに氷ができていたのを発見した年長児は、「自分達でもつくってみよう！」とその日からバケツやタライなどに水をいれ、翌日まで氷ができるのを待っていました。氷ができると友達と見せ合ったり、年下のお友達に「こおり、できてたよ！」と氷をあげたりして、一緒に触って冷たい感触を味わっていました。

氷遊びが続くと、「何度なら氷ができるのかな」と疑問に思い、気温を調べ見に行くことが日課になりました。朝早くなら氷が溶けず、スケート遊びができるかもしれないと考え、「9時に見に行こう！」と確認しに行くと、プールの全面に氷が張っていました。乗っても割れない厚い氷に大興奮！子ども達は嬉しそうにスケート遊びを楽しむ姿がありました。また「この氷は何センチかな？」と定規で厚さを測ってみたり、容器の置く場所や水の量などを考えて凍らせてみたりと、寒いからこそできる遊びの中で、自然に興味を持ち「今度はどうなるかな」と探求心を持って楽しんでいます。



これは何センチかな？



こおり、あげる！



ジュース屋さんです！



パリパリ！



年長児から氷をもらった2歳児は、氷を落として割れる音や、足で踏んだ時の「パリパリ」とした音を聴き、友達と「パリっていったね！」と音を楽しんでいました。年長児からしてもらって嬉しかったことを自分達もやろうと、年下の0歳、1歳児のお友達に「こおりあげる！」「さわっていいよ」と優しくかかわる姿がありました。0歳、1歳児のお友達もそーっと触って、氷の冷たい感触に出会いました！

年長児が氷を作る様子を見て、年中児も「どうやったら氷できるの？」と聞き、年長児と一緒にカップやタライに水を入れてみました。翌日の朝、氷ができていたのを発見し、友達と氷を持って重さを感じたり、料理づくりに使ったりしています。

みて！タライでつくった氷！



スープ、できた！



年少児は、氷に色をつけたらどうなるかな？と、絵の具で色をつけると、いつも楽しんでいる病院ごっこやお店屋さんごっこにとりいれて楽しんでいます。色つき氷を薬やスープに見立て、友達や保育者とやりとりをしながら遊んでいます！